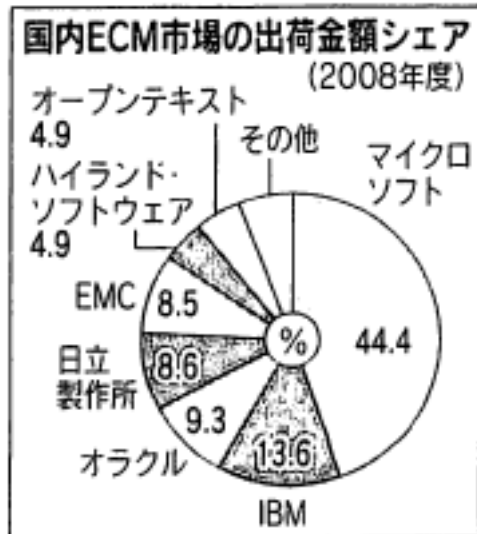


文書管理のECMソフト



08年度46%の大幅増

調査会社のアイ・ティ・アール（I・T・R、東京・新宿）は十六日、組織内の文書やコンテンツの保存、履歴管理、共有などを統合的に担うエンタープライズコンテンツ管理（ECM）ソフトの国内市場動向を公表した。

民間の国内市場予測

米MS製、4割超占める

二〇〇八年度のECMソフトのライセンス売上高は八十一億円で、前年度比四六・二%増と市場が大幅に拡大するとしている。

社内文書を管理するため、必要な機能をすべて備えたECMソフトを採用する企業が増えているという。従来は、紙文書の電子化、履歴管理といった機能ごとに複数のソフトを導入することが多かった。

企業別出荷金額シェアでは米マイクロソフトが四四・四%を占める。同社のECMソフト「オフイス・シェアポイントサーバー 2007」が機能と比べた価格の手ごたえから急速に売り上げを伸ばしているという。